

『ヤマトタチバナ』

ヤマトタチバナは、暖地の沿岸に近い山地にまれに自生する木です。

高さは2〜4mになり、通常は50〜100年で枯れて消滅します。ヤマトタチバナは太陽の光を好み、十分に光を浴びることのできる場所でよく育ちます。

珍しい植物なのに黒潮町に比較的多くみられるのは、生育条件が合っているためだと思われます。



※昭和50(1975)年旧佐賀町文化財指定。

■木の特徴

日本で独自に変化したみかんの原種で、葉腋(葉の付け根)にとげがあります。

葉は互生(一つの節に1枚ずつ重ならないように付くこと)し、長さ3〜6cmの楕円形状披針形状で、革質です。

6月ごろ、枝先の葉腋に直接2cmの5弁の白い花が咲きます。香り高く清楚な花は、文化勲章のデザインに採用されています。

果実は、直径2.5〜3cmの扁球形。果皮は黄色で薄く、袋は6〜8個。種子は5〜6個で大きく、酸味が強いが生食もできます。

香りを生かした和菓子の材料や、酢だちのように焼き魚などに使われます。

■日本神話に登場する木

古来より大和の人々に大切にされてきた木で、古事記、日本書紀に登場します。

海の彼方にある常世の国(楽園)から、不老長寿の果実として持ち帰ったと記されています。

果実は非時香菓とよばれ、宮中の貴重なお菓子だったようです。

また、清楚な香りで恋人を思い出す内容の歌が、万葉集などに多く詠まれています。

ひな祭りのひな壇には、向かって左に橘、右に桜が置かれています。これは、京都御所紫宸殿の前の庭の右近の橘、左近の桜を真似たものと言われています。右近の橘は本種の栽培品種で、果実が大きいようです。

○お問い合わせ
教育委員会文化振興係
(大方あかつき館内)

☎43-2110(直通)

陸上自衛隊高等工科学校生徒募集

将来陸上自衛隊において、高機能化・システム化された装備品を駆使・運用するとともに、国際社会においても自信を持って対応できる自衛官となる方を養成するために、中学校卒業者を対象に採用する制度です。

身分	特別職国家公務員(生徒) ※自衛官ではありません。		
手当	生徒手当	月額94,900円	期末手当 年2回(6月・12月)
衣食住	駐屯地で生活し、宿泊は無料で、食事・被服類・寝具などについては支給または貸与。		
休日休暇	週休2日制、祝日、年末年始、夏季休暇、年次休暇など。		
応募資格	平成25年4月1日現在15歳以上17歳未満の男子で、中学校卒業者(見込みを含む)。		
受付期間	平成24年11月1日(木)~平成25年1月7日(月)		
試験日・場所	一次試験	平成25年1月19日(土)	四万十市内

○お問い合わせ 自衛隊四万十地域事務所 ☎35-3096